

想い出の旅「中国・龍勝」

端気町生涯学習奨励員

小林 たつ子

コロナ禍で外出もままなりません、楽しみも必要です。私の楽しみは旅行です。特にアジアが好きで、昨年行った中国・龍勝の棚田は壮観でした。桂林から2時間余りの山合いに山々の一面が棚田になっていました。狭い水田に3〜4列程の稲が植えられ、その下は石垣の畦になり、また同じ様な田んぼです。水は、山の上の水源から上から順に下迄流れ、水路もよく整備されています。上から見ると下の方は霞んで見えません。少数民族のチワン族やヤオ族がこの景観を築き上げてきたそうです。よくぞここ迄と感心せずにはいられません。しかも八百年余りも続いているというから驚きです。龍勝の様な田舎では、坂道の為すべて「人力」です。カゴを背負ったり、天秤棒で担いだり、頭の上に載せたりとなんだか古くなつかしい日本を見ている様でした。「漓江下り」の周囲の山々の風景は水墨画の世界で心に沁みます。古い町並みの「大墟古鎮」は、町全体の建物が保存されていて、昔のままの生活空間が広がり、まるで異次元の世界です。

今迄の中国旅行は沿岸部が多かったので、内陸の方も行ってみたいと思います。発展した大都会より歴史のある古い町並が私は好きです。コロナが終息したら旅再開です。

湯の丸高原・湯ノ丸山

鳥取町生涯学習奨励員

加藤 正利

新型コロナウイルスが発生して10か月、半年間自粛していましたが、10月上旬に湯の丸高原・湯ノ丸山へ行つて来ました。駐車場（標高1657m）から標高2103mの湯ノ丸山の頂上まで標高差446mを2時間程で登りました。牧場内を通り落葉樹林の中を抜け急傾斜になると孀恋村や信州の村を眼下に見ながら登りました。山頂はやや風があり汗まみれの下着に吹き付けて冷たかったです。でも、日が出て徐々に暖かくなってきました。ランチを食べて30分程で出発、帰りは紅葉を見ながら山を下りスキー場を通り1時間程で下山をしました。

旅館は鹿沢温泉郷の秘湯の温泉登録をしている源泉かけ流しの湯です。鹿沢は、あの「雪山賛歌」がつくられた所で有名です。京都大学の西堀栄三郎先生の作詞です。吹雪で外に出られなかったので旅館で学生と一緒に作詞をしました。うです。アメリカ民謡「いとしのクレメンティン」の曲に日本語を当てはめて曲に合わせる形で作詞をしたそうです。夜は、その旅館に泊まりました。



山路ゆく つつまされ 励 胆竜

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたらしく入った本の紹介

一般書

著者名

半沢直樹	アルルカンと道化師	池井戸 潤
始まりの木		夏川 草介
隣はシリアルキラー		中山 七里
自転しながら公転する		山本 文緒
風よあらしよ		村山 由佳
日没		桐野 夏生
滅びの前のシャングリラ		風良 ゆう
私は女になりたい		窪 美澄
三度目の恋		川上 弘美
ちよぼ		諸田 玲子

児童書・絵本

へんななまえのもの事典
 明日話したくなるお金の歴史
 脳のなかのびつくり事典
 もつとよのなかルールブック
 だれだれ？ハロウィン
 アンパンマンとみかづきまん
 イタイイタイトンデケ
 ごめんなさい！だいじょうぶ！

くほかにもたくさん新刊が入りました！

★木曜休館（土日祝日は10時〜17時開館）
 ※ご来館の際はマスク着用をお願いします。